

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年8月30日(2023.8.30)

【公開番号】特開2022-57211(P2022-57211A)

【公開日】令和4年4月11日(2022.4.11)

【年通号数】公開公報(特許)2022-064

【出願番号】特願2020-165343(P2020-165343)

【国際特許分類】

A 4 7 F 10/02(2006.01)

F 2 5 D 23/02(2006.01)

F 2 5 D 13/02(2006.01)

A 4 7 G 29/20(2006.01)

10

【F I】

A 4 7 F 10/02

F 2 5 D 23/02 3 0 3 H

F 2 5 D 23/02 3 0 1 C

F 2 5 D 23/02 3 0 6 J

F 2 5 D 13/02

A 4 7 G 29/20

20

【手続補正書】

【提出日】令和5年8月22日(2023.8.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

把持部62Aは、収容室44の前面開口44Aの下方まで十分に長く延びており、前面開口44Aを閉塞する。把持部62Aは、回動軸53A、54Aの移動方向の径方向において、把持部62Aの先端から回動軸53A、54Aまでの距離が、回動軸53A、54Aから外扉5、6の内端L1までの距離よりも小さくなっている。よって、仮に外扉5、6が閉じた状態で内扉61が回動しても、図6の中段に示すように、内扉61が外扉5、6に接触しない。これにより振動などで自然に内扉61に力が加わり、開放位置から閉塞位置に移動しても外扉6に傷などの負荷を与えない構造となっている。

30

把持部62Aは、開放位置に移動した場合に、トッププレート52に接触し、内扉61が自重で回動することを規制する。これにより、内扉61は前面開口44Aを開放する開放位置に保持される。

40

50